

OJT SUPPORT SHEET

指導者用

所属

氏名

SAMPLE

チェック&フォローの仕方

フットワークはよく、常にスピーディに行動していきますが、粘り強さという点では不安のあるタイプようです。上司の方としては、できるだけ定期的に本人と話し合う場をつくり、仕事の方向性がズレてしまっていないか、また作業を途中で投げ出した格好になっていないか、こまめにフォローしていく必要があります。

目標設定・計画立案のための指導方法

組織方針を意識しながらも、自我が強く、強い思い入れをもって目標設定するため、組織との整合性がとれなくなってしまう可能性があります。一方、行動面では、場当たり的一面が強く、計画をきちんと立てないまま動いてしまう場合があります。上司の方としては組織方針との整合性を考慮するよう伝えると同時に、最低限の行動計画を策定してから行動するよう仕向けていくことが望めます。

指示命令の出し方

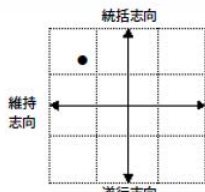
自分自身の信念にそって行動しようとする意識が強くあります。したがって、行動に着手以前に本人の考えを聴き出すようにし、問題があれば、仕事の基本的な方向性について指示を出すようにしてください。また、仕事の進め方がかなりルーズになりがちです。効率化のため、できるだけ細かな指示を出すようにしてみてください。

キャリア開発支援テスト 個人結果報告書

所属	
氏名	SAMPLE

現在のあなたの仕事スタイルイメージ

仕事に対する基本的な志向性



他者と連携しながら仕事を進め、チームとして高い成果を出していることに強い志向性を有しています。また仕事内容的には、仕事の持続の明確な、維持管理に必要な要素の強い業務に対して関心を強く持っています。

あなたの仕事イメージ

① 組織貢献スタイル

率先者

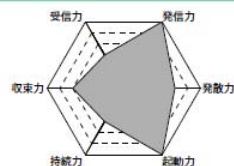
みずからエネルギーに率先して行動することで、メンバーの意欲を喚起し、集団の力をうまく引き出しながら、与えられた目標の達成をはかっていくというのが、現在のあなたが志向する組織貢献スタイルといえます。

このタイプの人の場合、ともかく行動を起こすことで先に進んで行くという意識が強く、意思決定は非常にスピーディです。また、周囲の人に働きかけ、相手をも自分のペースの巻き込んでいくといった、力強い発揮できるはずで。

② 生じやすい問題

何でも自分の思ったとおりにならない気がすまないところがあり、他人の意見を無視し、いくぶん独善的な判断で行動してしまう可能性があります。また、周囲の状況をあまり気にしないことが多く、勝手気ままな行動によって、周囲の人に対して迷惑をかけてしまう場合も出てきそうです。

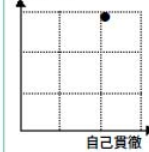
基本能力パターン



意思決定はスピーディで、いたずらにためらうことなく、積極性をもって仕事を進めていくタイプです。ただし、周囲の声に謙虚に耳を傾けるといふ姿勢は弱く、自分勝手な判断で安易に行動を起こしてしまう面があります。

エネルギー特性

領域拡大



良くも悪くもエネルギーで、自分の意志を強く持ち、自分の興味関心にしたがって行動していることがわかります。周囲への影響力は強いですが、強引で気まぐれという部分が強くなってしまっている場合も多いようです。

あなたが希望するキャリアのイメージ

業務管理型チームスタッフ

あなたが希望している将来のキャリアは、ひとことでいえば業務管理型チームスタッフであると考えられます。すなわち、
 ①企業活動全般への幅広い関与を志向しながら、
 ②単独もしくは実行チームの一員として、
 ③知的な経歴の高さを武器とし、
 ④着実な問題処理によって、求められる成果水準を達成していく、
 というものです。

求められる資質・能力

このようなキャリアをめざす場合、もっとも重要なのは、与えられたテーマに対する強い責任感であり、責任をまっとうするために必要な持続意志と、問題解決のための知的強能力とが、不可欠な能力要素となってきます。

キャリア実現への解決課題

① 基本的な方向性

自分独自の領域を確立し、他の領域を許さない高い専門性を獲得すべく努力すると同時に、みずからの役割を、安易に他者に譲らずに遂行していけるよう、スピーディかつ持続的な行動力を開発していくことが必要です。

② 実現への重点課題

① 自己満足に陥ることなく、常に自分の仕事の品質を客観的に評価する習慣を身につけることが望めます。また、勢いと思い込みだけで仕事を進めることのないよう、実現可能性をきちんと踏まえた、妥当性のある計画を作る力も獲得してください。

② 質の高い仕事をしていくには、自分の意見にとらわれず、多様な情報を積極的に吸収し、物事を多角的にとらえる力を身につけることが必要です。自分の考えを絶対視せず、虚心に他者の意見を耳を傾けることが、今後の成長のカギといえるでしょう。